

一般質問 (9名)



北野 唯道

Q 令和という新しい時代に対する市長としての意気込みについて

A 平成は政治の変革や経済の変動に加え、人口の減少、東京への一極集中による地方の活力の衰退や頻発する大規模かつ多様な災害への備えなど多くの課題が浮き彫りになった時代であった。人口については、平成の半ば頃から減少に転じ、国や地域社会の存続自体に対する危機感が高まったことから、国、地方とも様々な方策を講じてきたが、明確な方向性を見出せないままに令和へと移ってきた。その解決のためには、雇用の確保や子どもを産み育てやすい環境づくりが必要と考える。

Q 保育園における待機児童の問題について

A 本市の待機児童については、4月1日現在で平成29年37名、30年41名となっている。

Q 本年度における待機児童の状況について

A 4月1日現在で16名おり内訳として0歳児2名、1歳児8名、2歳児4名、3歳児2名となっている。



Q 女性の活躍について、今後の市の取り組みを伺う

A 市も管理職の増加や様々なステージで女性の活躍が期待され、女性の豊かな感性等、社会で十分に発揮できるよう施策を講じる。

Q 老人クラブについて名称を変更することは可能か

A 名称を変更することもできるし、補助金も従来通り、受けられる。魅力あふれる名称に変更し、イメージアップして活動してほしい。



Q 子育てひろばについて、市内3ヶ所、表郷1ヶ所、大信1ヶ所あるが、東地域にはない。親子交流の場である子育てひろばの役割は重要である。毎日のように利用する家族にとって近くへの整備を要望する

A 特設ひろばの開催などをして、地域の子育て支援団体など育成を進めながら整備できるように努める。

Q 市政の情報発信の充実について、魅力的な政策や先進的な取り組みが市民に十分浸透していない

A わかりやすい内容にするため、市民に寄り添った柔軟な情報提供に努める。

玉川 里子



佐川京子

Q しらさかの森スポーツ公園グ
リーンスタジアムに電光掲示板
の設置要望について

A 多くの社会体育施設の老朽化
対策の中で優先順位を考慮し総
合的に検討していく。

Q 農地集積の担い手に対する農
地管理の徹底について

A 農業委員会と連携し農地の適
性管理をお願いしたり、広報紙
等で注意喚起等対策を講じてい
く。

Q スケートボード場の設置要望
について、若者に人気のあるス
ポーツができる施設整備をぜひ
検討してほしい

A 競技人口の動向を踏まえ必要
性を議論したい。

Q 里山の鳥獣被害対策について

A 農家が比較的容易に自ら取り
組める対策等をまとめ、市のH
Pや回覧で周知する。

Q 大手旅行会社を対象にした本
市のモニターツアー開催につい
て

A 観光ニーズを踏まえ広域的魅
力づけの誘客に、旅行会社の意
見を聞ける機会を設けていく。



石名国光

Q 小峰城清水門の復元を発信し
てはどうか市長に伺う

A 復元には絵図面の検証、門跡
の調査、文化庁との協議など
様々な問題があり、解決の見通
しがついた段階で明確なメッセ
ージを発信する。

Q 整備を行う帯曲輪の活用方を
伺う

A 帯曲輪の役割や壮大かつ美し
い石垣を、間近で堪能できる園
路整備や張芝、防護策の整備を
行い小峰城の魅力を知ってもら
う場として活用する。

Q 高齢者の体力測定やリハビリ
職員が行う「いきいき百歳体操
教室」について伺う

A 徳島大学の荒木名誉教授の協
力を得て、すでに小学校で行わ
れている「コーディネーション
を活用し、高齢者向けの健康維
持と脳の活性化につながる「ら
く楽健康体操」の取り組みに着
手したところである。

Q いじめの加害者をつくらない
取り組みについて伺う

A 今後も、いじめは決して許さ
れないと、深刻化すれば人の命
を奪うことになる行為であるこ
とを連続して指導し、児童生徒
が加害者とならないよう取り組
む。





佐藤 正則

Q この8ヶ月で横田基地と三沢

基地を、のべ40機23往復、さらに最近訓練空域外である当市の上空を不法飛行している米軍機オスプレイに対し、市でも市民の安全を守る立場から国や県に飛行中止の申し入れを行うべきである。市の考えを質す

A 全国知事会が国に要望しており、その動向を注視していきたくと考えている。

Q 国の今年度予算に「就学援助

の入学準備金1万円・中学校修学旅行費等」の単価引き上げと「卒業アルバム等」の新規補助が含まれている。市の今後増額への対応、検討状況を質す

A 市の予算執行状況を見ながら、不足が生じる場合には、予算を補正し対応していきたいと考えている。

Q

5月の猛暑の影響から「非課税高齢者世帯」へのエアコン設置費の補助について、現在の市の考えはどうか質す

A 高齢者は、温度の変化を感覚的に認識しにくく、熱中症など発症する可能性が多分にあることから、先進事例を参考にさらに検討を加えいく。



Q

市民の方から市税等の「全額前期納入」に対して、以前は報償等の制度があったが、復活させてほしいとの意見があった。市の考えを伺う

A 4市村合併時に制度を廃止した。この制度では、特別徴収者（年金から市税等を徴収されている方）が全期前納しようとしてもできない状況にあり、不公平となるため、制度の復活は考えていない。



大竹 功一

Q

「広報しらかわ」5月号に「来庁者アンケート実施結果」の記事があった。市民の方から「対応のいい人もいれば、改善を求めたい人もいる」「約1か月の調査は短すぎないか、それで結果発表とはいかがなものか？」等のご意見をいただいた。今後の調査をどのように考えているのか

A 今後については、調査期間について検討し、毎年実施したいと考えている。

Q

自動車運転免許証返納者に対する対応について市はどのように考えているのか

A 循環バス等の整備や今回も試行するタクシー助成制度等に対応したいと考えている。





高橋光雄

Q 自主財源の市税収入は大事である。現時点における昨年度市税収入はいくらか。その主な要因は何か

A 昨年度の市税収入は90億円を超える見通しであり、過去最高の税額となる。固定資産税は、前年度比で9・4%、税額で4億円増加する見込みである。これは、鈴木和夫市長就任以来取り組んできた産業の振興、とりわけ地元企業の体質強化、企業誘致、創業支援といった政策が、税収増につながったと考えられている。また、収納率は29年度に99・33%となっており県内13市中、第1位だった。昨年度も同程度の見込みである。

Q 昨年度のタクシー助成券による地域内移動支援実証実験を検証した結果、今年度はどのような支援をするのか

A 運転免許を持たない75歳以上の高齢者と障がい者を対象に、タクシー運賃助成券500円券を20枚、1万円分を交付する。また、バスについては、定額100円券を20枚、2千円分を交付する。タクシーは、乗合利用も可能である。



Q 白河桜祭りの開催期間に南湖公園でもイベントを開催することと今後の利活用について

A これまでは主に南湖北東部の店舗群や駐車場等の整備を進めてきた。今後は国道294号バイパスの開通により南湖を訪れる方の増加が見込まれる西側に目を向けていく必要がある。南湖の西側は、那須連山を望む絶好のビューポイントであることから、森林公園を含む南湖周辺地域の一体的な存在と利活用をさらに検討し、集客効果の高いマラソン大会などのイベント開催の可能性も含め、南湖の持つポテンシャルを最大限引き出していく。



室井伸一

Q 放課後児童クラブの待機児童の現状と現在進めている対策について

A 放課後児童クラブの待機人数は白二小で13名、みさか小で18名になっている。現在、教育委員会・学校と連携を図り、空き教室・空きスペース・学校図書館について検討を行っている。



〈南湖公園〉



深谷 弘

Q 今後の国保税の見通し

税額・税率を決定するうえで、前年度決算がどうなるかは重要である。平成30年度の国保基金残高及び繰越金はどれくらいになるのか

A 国保基金残高が10億267万円、繰越金は約2億5千万円を見込んでいる。

Q 年々国保の黒字（基金＋繰越金）が増えている。国保基金をどのように使うのか

A 国保税の上昇を抑え、被保険者の負担軽減のため使いたい。また、重症化予防事業や子育て支援としての「子どもの均等割の減免」など、中長期的に使っていく。

Q 教職員多忙化の是正について中教審答申（「働き方改革」）が出されている。改善に向けてどう取り組むのか

A 「勤務時間の徹底」については、パソコンを使い勤務実態をつかみ、職員への声かけ、相談、校務分担の軽減などを継続。「意識改革」では、校長が職員会議で指導しており、より効果的な方法を、校長会議で協議し、情報を共有している。



請願・陳情

今定例会において審査された請願、陳情についてその内容と結果についてお知らせいたします。

請願議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
請願2 請願者 福島県教職員組合 西白河支部支部長	教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書提出を求める請願	継続審査 審議未了（元.7.9）
	教職員の長時間過密労働の解消に向けた意見書を提出すること	
請願3 請願者 福島県教職員組合 西白河支部支部長	「ふくしま学力調査」中止の意見書提出を求める請願	<反対意見> 子どもたちの学力を知ること、教職員の教え方の課題をみるメリットなどがある。 不採択（賛成少数）
	「ふくしま学力調査」が、学力偏重の施策であり、教育現場を混乱させ、児童・生徒や教職員の多忙化に拍車をかける要因になっているので、来年度以降、「ふくしま学力調査」の中止の意見書を提出すること	
請願4 請願者 福島県教職員組合 中央執行委員長	「令和2年度及び復興・創生期間後も国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願	採択 （全会一致）
	東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、令和2年度及び復興・創生期間後においても全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」を継続し、十分な就学支援に必要な予算確保を国へ要望する意見書を提出すること	
請願5 請願者 県南高齢期運動 連絡会会長	後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願	不採択 （賛成少数）
	75歳以上の医療費窓口負担の2割への引き上げをしないこと	

陳情議案

案件番号	案件名とその概要	議決結果
請願1 陳情者 白河中央公民館 クラブ会長	中央公民館の早期建設を求める陳情	採択 （全会一致）
	中央公民館の早期建設に向け着手するよう陳情する	